

フブ・服部の中国通信

新人営業マンをご紹介させていただきます！

ご無沙汰しております。

肌寒い日も増えてきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今月は、先日より予告しておりました期待の新星「武島信(たけしましん)」
のご紹介をさせていただきます。



スラっとした体型に爽やかな笑顔、近頃お腹が出てきて周囲から「太った、太った」と言われる私としては羨ましい限りです(笑)

彼の所属する大阪第二営業課では、月に一度の食事会が「武島君にご飯を食べさせる会」になっているようで、諸先輩方にも可愛がられるキャラクターを持つ一方、プライベートでは5年前のiPhoneを今でも大事に使っている、うちのオカザキに見習わせたい金銭感覚のしっかりした若者です。

入社当初は墓石という特殊な業界に戸惑ったでしょうが、持ち前の我慢強さで着実に力をつけ、先日ついに営業デビューを許された逸材でもあります。最初、と言う事でまだ少し硬さの残る文章ですが、それも初々しさをご理解いただければ幸いです。それでは「新人武島の中国研修記録」お楽しみください。

「武島信の中国研修記録」

皆様初めまして。この度中国での研修記録を書かせていただく、大阪第二営業所新人の武島信（たけしま しん）と申します。人生初海外そして初中国の一週間の研修記録を端的に書かせていただきます。

初日、まさかの台風にみまわれ日本を出発することすら危ういという事態におちいってしまいました。何とか雨風ともにおさまりなんととも幸先の悪いスタートのなか、無事中国は厦門島まで到着する事ができました。そんな中で私にとって驚きであった事を**3つ**御紹介いたします。

まず**1つ目**は、工場のスケールの大きさです。聳え立つ原石在庫の山々から始まり、騒音を立てながら並ぶ大口径、ずらりと並んだ研磨機の行列。国内の工場はいくつか拝見させていただいた事がありますが、大きな工場に加工の機械がずらりと並んだ光景は私にとって観感興起なものでした。



残りは、私が国内では見たことがなく、非常に勉強になった機械を**2つ**書かせていただきます。

最初の機械はこれです。



国内で庵治と大島の丁場しか行った事のない私は発破とバーナー以外の採掘方法を知りませんでした。レールの上を走り綺麗に等間隔で切削されていく様が美しく、初見の私にとっては非常に新鮮でした。縦横に切削された岩盤は碁盤の目のように並びつつ見入ってしまうものでした。

そして、私が初見で勉強になった2つ目の機械は、ガンクソーでした。





巨大な車輪による前後の運動で、無数に並んだ刃を石材にあて、その刃の間隙から流し込む砂によって大きな原石を等間隔に一気に切削できるそうです。残念な事に稼動しているところは拝見することが出来ませんでした。この機械の切削シーンは相当迫力のあるものらしいです。ぜひとも次回の訪問では動いている姿を拝みたいものです。



と、つらつらと真面目に書かせていただきましたが、結局一番印象的なものはこのお酒でした。白酒ですね・・・このような経験がある方はたくさんおられると思いますが、私も見事にやられてしまいました。印象には残っていますが記憶はまったくございません。

おそらくこのときの私は食事が始まって30分足らずでこの状態になっていたと思います（記憶があいまいなのであくまで聞いた話ですが）。初海外で食べた本場の中華はみごとに全て吐き出してはしましたが、これもまた勉強だと思い業界知識を高めるとともに強い肝臓を作るように努力していきたいと思います。

簡単ではございますが、以上で私の中国研修の記録とさせていただきます。
ありがとうございました。

大阪第二営業所 武島

いかがでしたでしょうか？ 昼夜問わずかなり頑張ったようです。心なしか
帰国時ゲッソリしていたような・・・(笑) 武島信(たけしましん)です。
御社にお邪魔した際にはぜひこき使ってやってませ。

それでは今月もこのあたりで。また来月お会いしましょう、再見

11月1日 服部